



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり
連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.109 2021年6月

新型コロナウイルス「第4波」による医療崩壊をくい止め、市民のいのちとくらしを守るための緊急要望

―4月28日、濱田市長に緊急要望書を提出しました―

新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、大阪府は「医療崩壊」の状況にあります。

特に大阪府は、変異株の感染が多く、感染力は1・3倍以上あり、致死率は1・64倍といわれており感染を止める対策が必要です。

新型コロナウイルスの大規模なモニタリング検査と、変異株の全数検査が求められます。

以上のことを踏まえ下記の項目を要望します。

1、感染者の急激な増加に対応できるように保健所の体制を強化する

こと。

2、高槻市内の高齢者施設の従事者への定期検査を7月以降も継続し、医療機関や利用者などに拡充すること。

3、大阪府の休業要請への協力金は、事業規模によつては十分な金額ではなく、しかも支給が遅く事業者は持ちこたえられない状況があります。さらに、対象外の業者も多く、高槻市がすべての事業者に対して給付金を出すこと。

4、学生や生活困窮者への食糧や、日常生活用品などが支給できるように取り組むこと。

5、国民健康保険料、介護保険料の今年度の国による減免の所得基準を一昨年にする

6、子どもの成長発達を考えて、小学校、中学校での一斉休校やオンライン授業はしないこと。

市長は、検討すると答えました。



コロナ禍での市民応援

●事業者応援緊急給付金

1事業者に対して10万円を給付します。
昨年に続いて2度目です。一昨年が昨年の所得より少しでも減収している事業者が対象です。昨年給付された事業者の手続きは簡素化されます。
※日本共産党市議員団は市長への要望書提出の時に、何度も要望をしてきました。要望が実現しました。※

●プレミアム商品券(地元のお店応援券)

1世帯につき、1セット5000円分の商品券を2セット購入可。
1セットにつき2000円の自己負担が必要です。各家庭に書留で購入券が届きます。(販売場所は市内各郵便局など)

●国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の保険料の減免

①新型コロナにより、主たる生計維持者が死亡または重篤な傷病を負った世帯(人)
②新型コロナの影響により主たる生計維持者の2021年の収入が2020年に比べて10分の3以上減少することが見込まれる世帯(人)
※すでに昨年度の収入は一昨年より、減少している世帯(人)が多く、今年度と比べても本当の比較にはなりません。日本共産党は収入が昨年度の収入との比較ではなく、一昨年の収入と比較すべきだと主張しています。※

大阪医療の立て直しは急務

大阪では搬送先病院が見つからず、在宅療養のまま亡くなる状況も増えていきます。清水忠史衆院議員は予算委員会、必要なら重症病床の確保や医師・看護師の派遣、広域搬送の調整など、政府の責任で医療提供体制の立て直しを進めるよう求めました。

医師・看護師不足の対策を

大阪では重症病床の使用率が100%を超え、自宅やホテルでの療養者が16000人以上となっています。全ての感染者のうち、約9割が入院できていません。
大阪だけでは対応できません。全国から医師・看護師の派遣が必要です。また、患者の広域搬送を調整すべきです。日本共産党は国会でも要望しました。

ワクチンの現状と見通しについて

―5月25日、日本共産党市会議員団は根尾健康福祉部長にワクチン接種の現状と今後に見通しについて聞きました―

Q 接種できる場所の現状はどうなっていますか。

接種できる医療機関の協力が180か所と最初より増えています。

集団接種場所も、あと一か所増やす予定です。

また、コールセンターの電話もあと10台増やす予定です。

Q 接種の現状はどうなっていますか。本月に8月で高齢者の接種は終わりますか。

ワクチンは届いていますが、最初8月終了予定としていましたが、できるだけ早く終了するために、前倒しも考

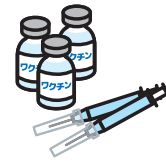
えています。

Q 副反応が怖いという声も聞かれます。

高齢者は若い人より、副反応が弱いと聞いています。今まで高槻市内で接種した方からのアナフラキシーショックなどの副反応は出ていません。

Q 高齢者や障がい者の入所施設の方の接種はどう考えていますか。

市としては嘱託医などと連携して、施設で接種してもらおうように、施設側に提案しています。



Q 高齢者全員が接種予定ですか。

強制ではないので、受けたくないという人まで受けさせることはできませんが、最終的に接種していない人には接種を勧めるお知らせを郵送する予定です。

Q 認知機能の低下や、障がいや寝たきりで動くことのできない人への対応は

在宅医療をしている医療機関との連携が重要になってくると考えています。
※接種券をなくした方は再発行できますので、コールセンターまで連絡ください。



高齢者医療費窓口負担

2倍化法案は許せない

菅自民・公明政府は5月11日、衆議院本会議で75歳以上の高齢者の窓口負担を1割から2割に倍化する法案の採決を強行しました。

菅首相は「ただちに患者への影響はない」と強弁していますが、厚生労働省の持参した資料で「糖尿病は治療中断で失明など、重度の合併症につながるた

菅首相の説明

破綻した

採決では、自民・公明に加えて、維新や国民民主党も改悪に賛成しました。

この負担が増えることについて、政府は「負担能力がある」と繰り返ししてきました。

日本共産党と立憲民主党は、「負担が増える」と受診控えがおき、高齢者の健康悪化が進むのは絶対許せない」と反対しました。

ところが、負担できるのなら、起きることのない受診控えを見込んで、給付費用を1050億円も削減すると推計していることが、野党側の追及でわかりました。

これによって、75歳以上の高齢者約1815万人のうち、370万人が被害を受ける人は

菅首相は「ただちに患者への影響はない」と強弁していますが、厚生労働省の持参した資料で「糖尿病は治療中断で失明など、重度の合併症につながるた

超える人(単身)、夫婦では合計で320万円を超える人が来年の後半から2倍になる予定です。

め、負担軽減こそが必要である」と提起しています。まさに菅首相の「健康に影響しない」という答弁はまったくのデタラメです。

6月議会日程

※いずれも午前10時 開会です。ぜひ傍聴をお願いします。

6月10日(木)	本会議／提案説明	17日(木)	総務消防委員会
14日(月)	本会議／質疑	24日(木)	本会議／採決、一般質問
16日(水)	文教にぎわい委員会 福祉企業委員会	25日(金)	本会議／一般質問
17日(木)	市民都市委員会		